

保健体育科学習指導案

日時 2005年11月11日(金) 3教時
 生徒 俱知安町立東陵中学校1年A組
 (男子17名、女子18名 計35名)
 指導者 教諭 佐々木 英 美

1、単元名(題材名) 球技(バスケットボール)

2、単元について

バスケットボールは、攻防の切り替えの早いゲームであり、運動量も多く、生徒も比較的好む教材である。バスケットボールをはじめとするボール運動の特性は、勝敗を競うことである。そのために、バスケットボールでは、チームとして「相手に勝つため」にパスやドリブル、シュートなどを駆使し、集団的な技能や戦術を競い合うことや作戦を立てて勝敗を競う過程や結果に楽しさを喜びを味わうことが大切である。特に、ゲームでは攻防の早さ、シュートへ結びつけるまでの様々な作戦や協力、声かけなどを通して、ゲームそのものを楽しむことができる。

生徒の意識は、個人や集団の技能の向上がゲームのレベルを高めるということよりもゲームの勝敗に関心が集まりがちである。そのため、ゲームを行うこと自体が学習のねらいになるような課題を組み込んだゲームを設定したい。また、一人ひとりが十分にボールに触れ、基礎的技能を身につけさせていくようにしたい。

1年A組は素直で明るく何事にも真剣に取り組む姿勢が見られ、男女間の仲も良く、和気藹々と交流できる雰囲気を持っている。また、昼休みにはバスケットボールをして遊ぶ生徒も多く、本単元には意欲を示す生徒が多い。バスケットボール部員が7名(男子4女子3)おり、それぞれチームのキャプテンとして、さらに技術・戦術面以外にも生徒間の交流と楽しさを生む場としたい。

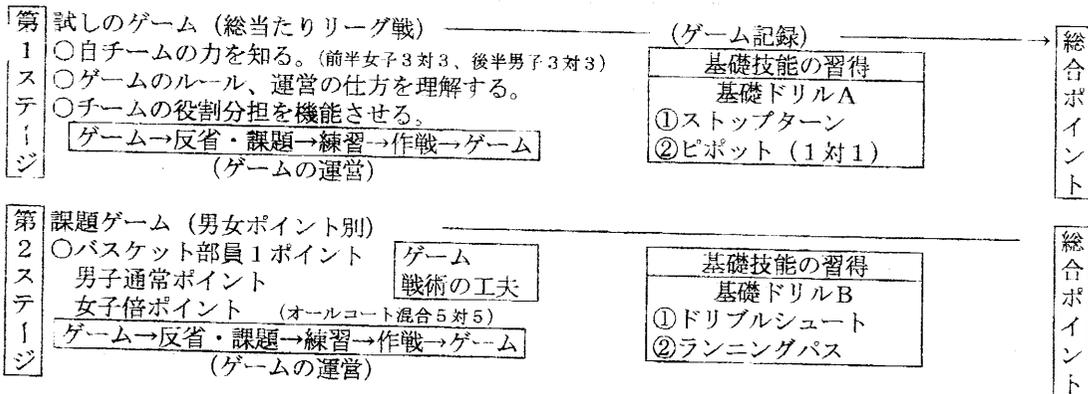
3、単元のねらい

- ・攻防の切り替えの早いゲームの楽しさを味わう。
- ・バスケットボールの技能や戦術を競い合う楽しさを体感し、それらをレベルアップさせるための活動をチームで工夫し取り組む。
- ・ゲームに必要な技能を体験的、感覚的に理解し、身につける。
- ・フェアな態度でゲームに臨み、プレイヤーとしてだけでなく、審判などのチーム内での役割を分担して運営する立場の責任を果たす。

4、単元計画

◎オリエンテーション(1時間目)

◎バスケットボール大会(2~17時間目)



◎表彰と単元の反省・自己評価(18時間目)

4、本時案

(1) 単元名「バスケットボール」(9/18)

(2) 研究との関わりと目指す生徒像

バスケットボールの授業においては、ゲームを手段として何かを学ぶというより、ゲームを行うこと、楽しむこと自体がねらいとなる。そして、この[ゲームの楽しさ]は勝敗の行方だけに求められ、技能を習得する喜びやバスケットボール本来の楽しさがなかなか得られない恐れがある。そのため、男女混合のチーム編成をし、女子にはボード1点、リング2点、ゴール4点、スリーポイント6点とハンデを付けて、個人技ではなくチームプレーの楽しさを工夫することによって、それぞれのチームごとに戦術や練習方法を考えていくという学習展開が期待できるようにすると考える。

(3) 本時の目標

バスケットボールの技能や戦術を競い合う楽しさを体感し、それらをレベルアップさせるための活動を、チームで工夫し取り組む。

(4) 本時の展開

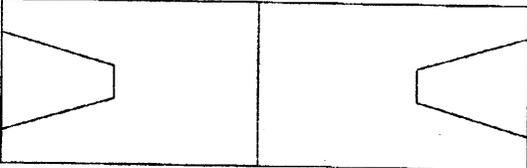
	学 習 活 動	教師の支援と指導	準 備 物
導 入 (5)	前時の確認 本時の学習内容 第1ステージでのゲームを思い出し、チームの戦術を工夫し競い合う楽しさを味わうゲームをしよう。	・第1ステージを思い出させる。	・タイマー、ボール、ナンバリングなど
展 開 I (20)	<u>チームの戦術を考えそのための基礎練習をしよう</u> ①準備体操・基礎ドリルB	・怪我の防止のためしっかり体操やストレッチをさせる。 ・みんなでどのように工夫したらよいかコミュニケーションをとらせる。	
	基礎ドリルB ①サークルドリブルシュート ・フリースローレーンに沿ってドリブルをし、サークルを1周した後、レイアップシュートをする。 ②トライアングルランニングパス		
	②作戦会議	・チームの特徴を知り戦術を考えさせる。	
展 開 II (20)	<u>チームの戦術を考え、ゲームを楽しもう</u> ①第1試合 ②第2試合 ※ 第3試合以降4時間目へ 展開II(4時間目+45分)	・ルールの再確認 ・戦術をうまく生かしてゲームを楽しめるようにさせる。 ・男女混合チームであることを意識させ安全に留意させる。	・女子の得点はボード1点 リング2点 ゴール4点 スリーポイント6点 ※但し両手シュートの場合
ま と め (5)	<u>チームの戦術がうまくいき楽しむことができたか</u>	・戦術をうまく生かしてゲームを楽しむことができたかチームで話し合う。	

(5) 評価

バスケットボールの技能や戦術を競い合う楽しさを体感し、それらをレベルアップさせるための活動を、チームで工夫し取り組むことができたか。

バスケットボール学習記録用紙

1年()組 ()班 班長 ()

月 日	曜日	時間目	記録者				
本日の目標							
ウォーミングアップ・練習内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・ランニング ・体操 ・ストレッチング ・ストップ ・ターン (ピポット) ・ゴール下シュート ・フリースロー ・ドリブル ・チェストパス ・三角形パス ・レイアップシュート ・リバウンド ・3対3の練習 ・その他 () 							
作戦めあて							
							
名 前							チ ー ム
個人の役割・目標							
役割目標は達成できたか							
作戦は生かされたか							
精一杯動けたか							
みんなで協力したか							
楽しくゲームができたか							
ドリブルシュート点							
三角形パス点							

ゲーム記録	月 日 ()						相手チーム	班
結果 勝ち・負け		得点 (味方					点 - 相手	点)
No.	名 前	6点	4点	3点	2点	1点	反省とチームの課題	

ゲーム記録	月 日 ()						相手チーム	班
結果 勝ち・負け		得点 (味方					点 - 相手	点)
No.	名 前	6点	4点	3点	2点	1点	反省とチームの課題	